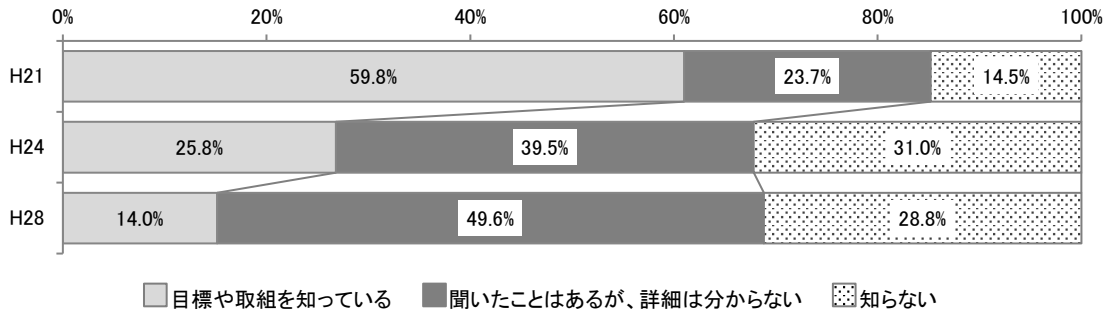


平成28年度 ヨコハマ3R夢プランについての 市民・事業所アンケート調査報告書〔概要版〕

家庭から出るごみについてのアンケート調査結果

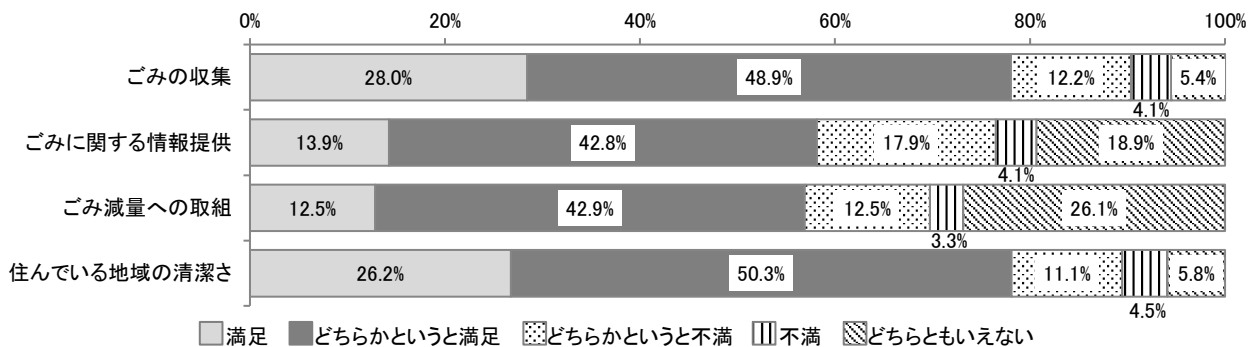
問2 「ヨコハマ3R夢プラン」を知っていますか。

- 「聞いたことはあるが、詳細はわからない」が49.6%、「知らない」が28.8%
- 平成21年度調査では、「横浜G30プラン」の認知度について調査した



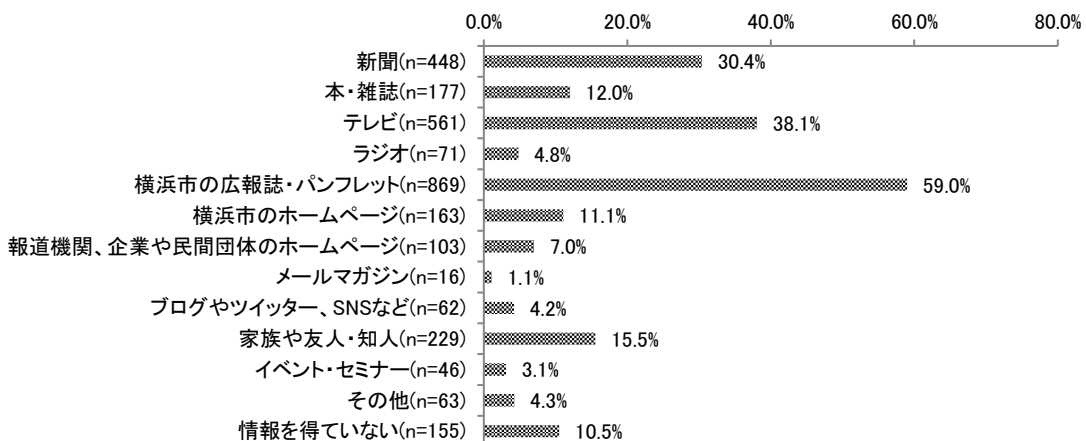
問3 横浜市のごみの収集などの取組をどう思いますか。

- 横浜市のごみ取組に対して、多くの市民が満足している



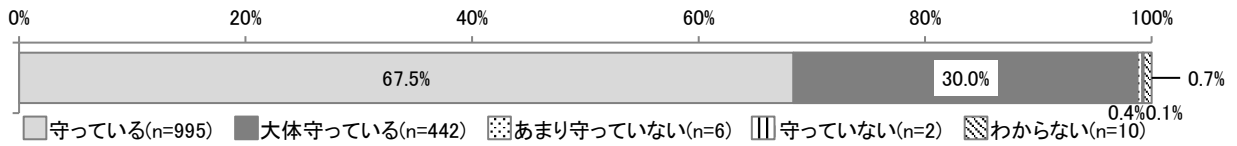
問8 3R行動などの環境に関する情報を得る主な手段はどれですか。

- 「横浜市の広報誌・パンフレット」が59.0%、「テレビ」が38.1%、「新聞」が30.4%



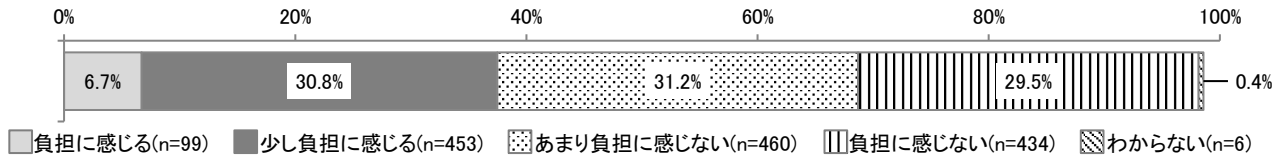
問9 横浜市のご分別ルールを守っていますか。

□ 非常に多くの市民が、横浜市のご分別ルールを守っている



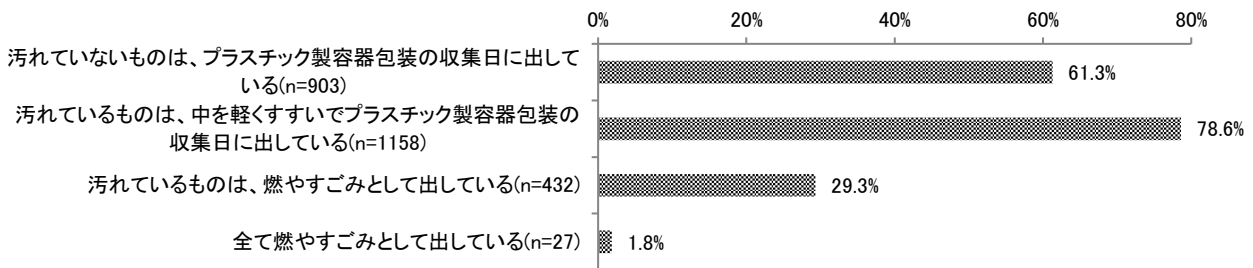
問10 分別を負担に感じますか。

□ 「あまり負担に感じない」が31.2%、「負担に感じない」が29.5%



問14 プラスチック容器包装をどのように出していますか。

□ 「汚れているものは、中を軽くすすいでプラスチック容器包装の収集日に出している」が78.6%



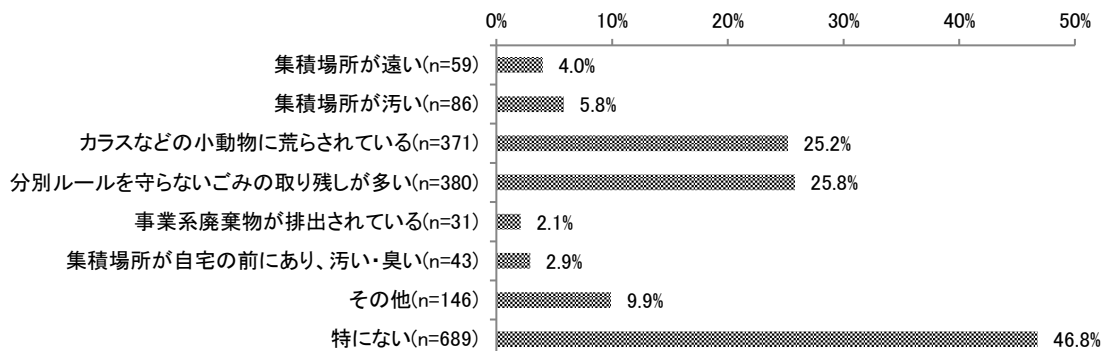
問16 メモ用紙、シュレッダー紙、レシートをどのように出していますか。

□ いずれも「燃やすごみ」が最も高い

	古紙	店頭回収	燃やすごみ	その他
メモ用紙	31.0%	0.5%	61.6%	2.8%
シュレッダー紙	30.6%	0.5%	50.2%	6.9%
レシート	20.7%	0.7%	72.2%	2.3%

問20 集積場所で困っていることはどれですか。

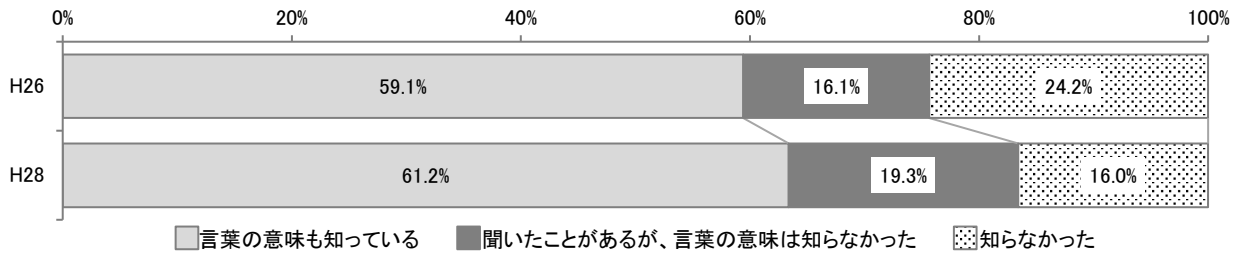
□ 「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」が25.8%、「カラスなどの小動物に荒らされている」が25.2%



問 30 「食品ロス」という言葉を知っていますか。

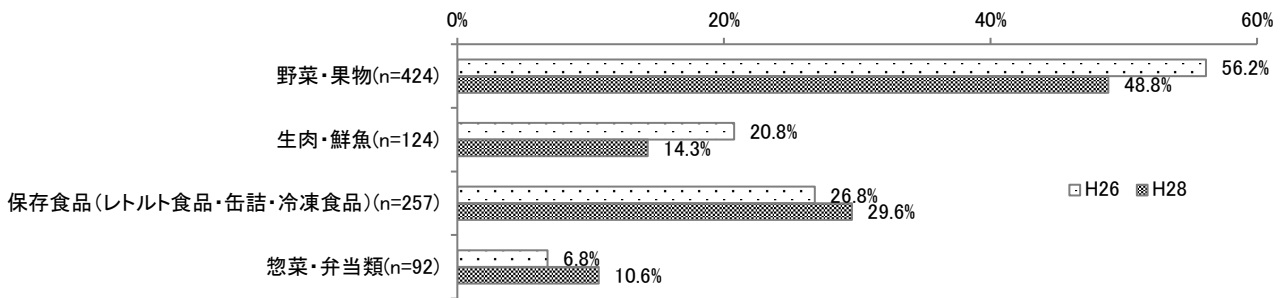
家庭から出される「食品ロス」とは、「何も手がつけられずに捨てられている食品（手つかず食品）」や、「食べ残された食品（食べ残し）」、「皮を厚くむき過ぎたりして過剰に捨てられているもの（過剰除去）」の3種類があります。

- 「言葉の意味も知っている」が61.2%、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」が19.3%
- 平成26年度調査と比較すると、認知度は上昇している



問 32 よく出してしまう「手つかず食品」はどれですか。

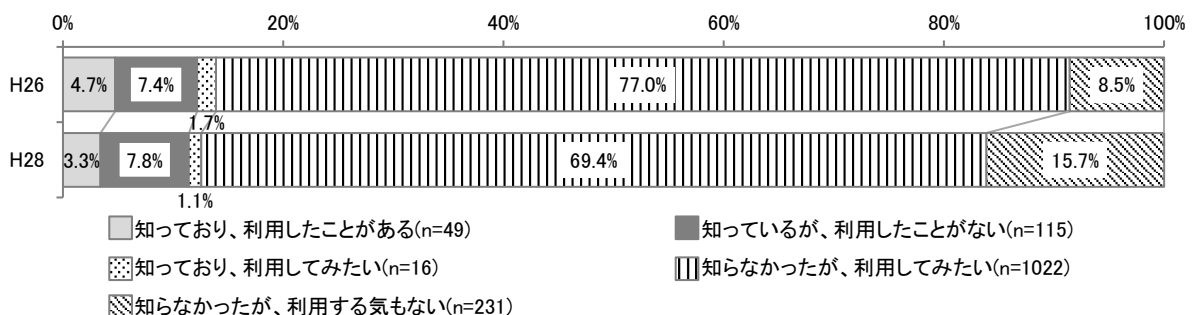
- 「野菜・果物」が48.8%、「保存食品（レトルト食品・缶詰・冷凍食品）」が29.6%
- 平成26年度調査と比較すると、生鮮食品が減少し、加工食品が増加



問 36 「食べきり協力店」を知っていますか。

横浜市では、市内の飲食店や宿泊施設等と連携して、「小盛りメニュー等の導入」や「持ち帰り希望者への対応」などを実践し、食品廃棄物を減らす取組として「食べきり協力店」事業を行っています。

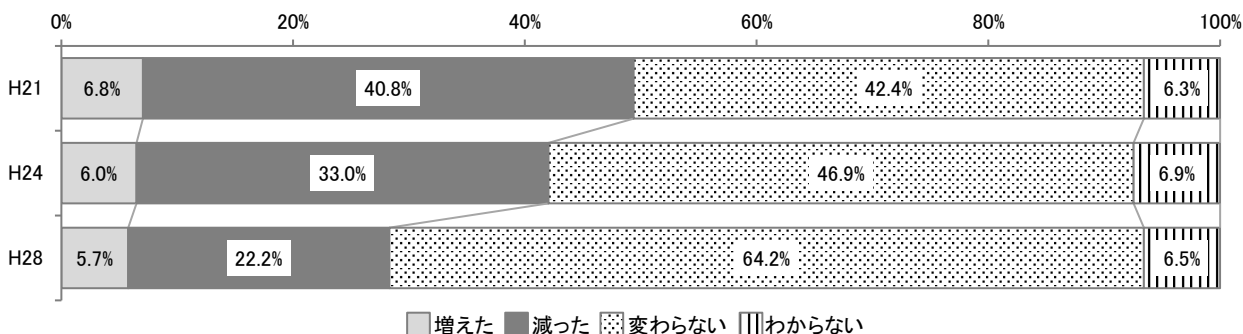
- 「知らなかったが、利用してみたい」が69.4%



事業活動により排出するごみについてのアンケート調査結果

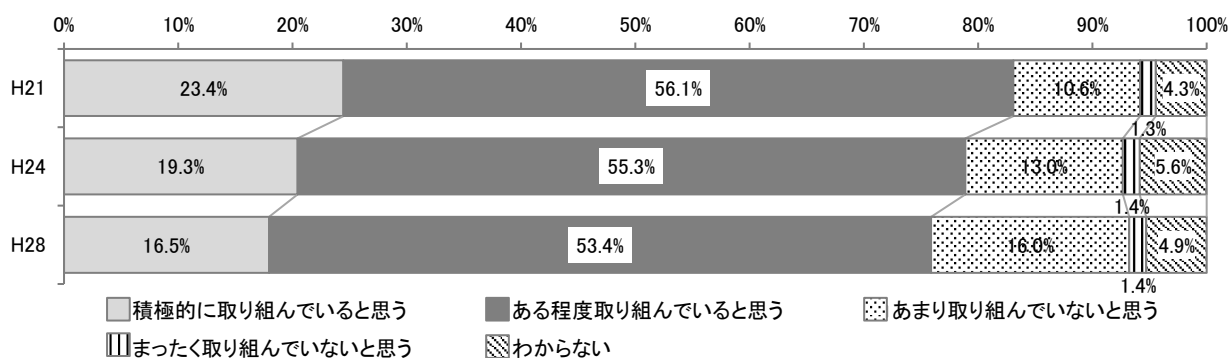
問2 ここ2～3年の間に、「一般ごみ（燃やすごみ）」の排出量は増えましたか、減りましたか。

- 「変わらない」が64.2%
- ごみが増えた理由では、「従業員が増えたから」が47.6%で最も高く、ごみが減った理由では「生産・販売など事業規模が縮小・減少したから」が62.2%で最も高い



問8 ごみの減量、リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。

- 「ある程度取り組んでいると思う」が53.4%、「積極的に取り組んでいると思う」が16.5%



問12 ごみの減量を進めるためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。

- 「従業員に対する教育を徹底する」が36.0%、「事業所内の分別ルールや処理方法を見直す」が32.5%

